

2023(令和 5)年度 「『授業改善』のための調査」報告書

柴田学園大学 FD 委員会
[改訂版]

目次

1. 実施方法	3
（1）実施期間	3
（2）実施・回収方法	3
（3）実施科目	3
（4）調査項目	3
（5）集計方法	3
（6）回答率	3
（7）結果の公表方法	3
2. 結果	4
（1）年度別×学科別の14項目の平均値	4
◎学科別の検討	5
（2）学年、学科別の平均値—健康栄養学科	6
（3）学年、学科別の平均値—こども発達学科	7
（4）2023(R5)年度全学年比較	9
（5）2023(R5)年度調査回答率について	10
（6）2017(H28)年度からの回答率の推移	11
3. 総括と今後の課題	11
4. 付録	12

1. 実施方法

(1) 実施期間

授業評価の実施時期は、半期科目・通年科目ともに前期末及び後期末の年 2 回とした。期間としては、前期は 7 月または 9 月に講義終了後、後期は 1 月または 2 月に原則的にその最終講義またはその前の回に実施した。

(2) 実施・回収方法

授業評価は、学期の最終講義か、またはその前の講義中か後に、学生が学内 Wi-Fi から入力サイトの WEB に接続して行った。

(3) 実施科目

卒業研究、学外実習（および一部その関連）科目を除く、全開講科目を対象とした。

(4) 調査項目

（付録「授業改善」のための調査用紙 参照）

調査項目は、選択式回答(自由記述欄を含む 14 項目、5 段階評価)である。教員の授業についての評価 8 項目(項目番号 1~8)、学生自身の授業の取り組み方についての評価 5 項目(項目番号 9~13)、総合的な授業満足度 1 項目(項目番号 14)の計 14 項目からなる。

なお、入力は学籍番号、学部・学年・授業科目名・授業担当者名である。

これ以降、「授業についての評価（項目番号 1~8）」を「教員の授業評価（Q1~Q8）」、「学生自身の授業の取り組み方についての評価（項目番号 9~13）」を「学生の自己評価(Q9~Q13)」と述べる。

(5) 集計方法

調査を実施した全授業科目の科目番号に基づき、すべての調査項目について各開講科目別にデータ処理を行った。

(6) 回答率

実施対象科目におけるアンケート実施状況は、2023(令和 5)年度前・後期において 100 パーセントである。アンケートの回答率は、前期は 65.41%、後期は 56.21%であった。（表 1）。

表 1 「『授業改善』のための調査」アンケート実施状況

	実施科目数	履修登録者延べ人数	回答数	回答率
2023 年度前期	157	4487	2935	65. 41%
2023 年度後期	145	3859	2169	56. 21%

(7) 結果の公表方法

個々の科目の集計結果は、次年度授業内容の改善に役立てるために、各科目の担当教員にフィードバックを行った。（付録「学生による授業評価アンケート集計結果表（科目別）」参照）また、全体の集計結果については報告書を作成し、学内の教職員に公表する。

2. 結果

(1) 年度別×学科別の 14 項目の平均値

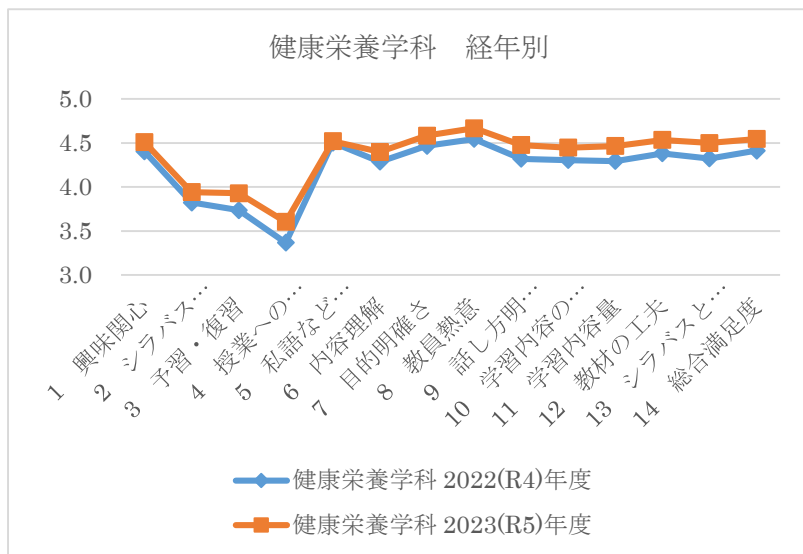
以下は健康栄養学科、こども発達学科、フードマネジメント学科の各質問項目についての年度別平均点である。

【健康栄養・こども発達・フードマネジメント学科 経年別(前後期平均)】

	健康栄養学科		こども発達学科		フードマネジメント学科	
	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度	2022(R4)年度	2023(R5)年度
1 興味関心	4.4	4.5	4.4	4.4		4.3
2 シラバスのチェック	3.8	3.9	3.7	3.8		3.8
3 予習・復習	3.7	3.9	3.7	3.9		3.9
4 授業への質問	3.4	3.6	3.6	3.6		3.9
5 私語などしない	4.5	4.5	4.3	4.2		4.2
6 内容理解	4.3	4.4	4.3	4.3		4.2
7 目的明確さ	4.5	4.6	4.5	4.4		4.4
8 教員熱意	4.5	4.7	4.6	4.5		4.5
9 話し方明瞭・速さ	4.3	4.5	4.5	4.4		4.5
10 学習内容の難易度	4.3	4.4	4.4	4.4		4.4
11 学習内容量	4.3	4.5	4.4	4.4		4.4
12 教材の工夫	4.4	4.5	4.5	4.4		4.5
13 シラバスと内容の一致	4.3	4.5	4.4	4.4		4.2
14 総合満足度	4.4	4.5	4.5	4.4		4.4

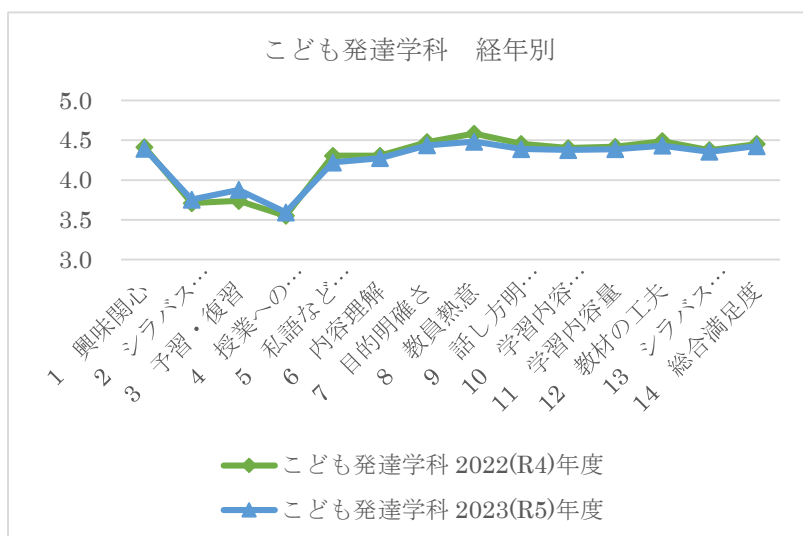
※フードマネジメント学科：2023（R5）年度新設学科のため、2022（R4）年度のデータなし。

◎ 学科別の検討



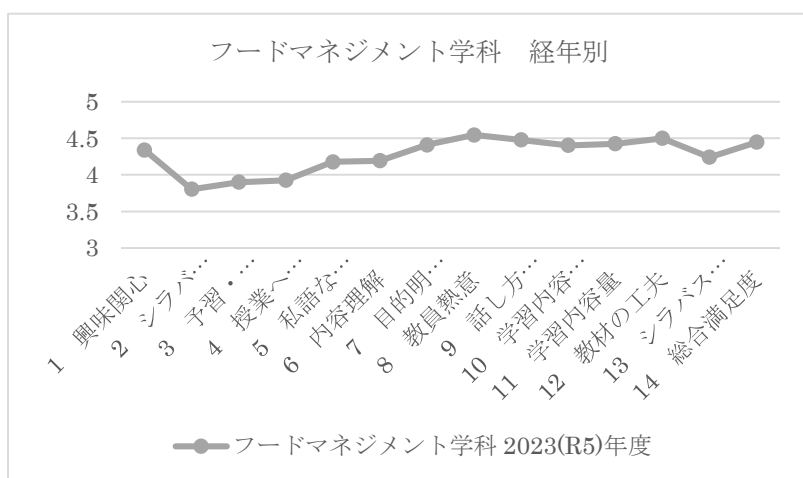
<健康栄養学科>

健康栄養学科の経年別変化（2022年度～2023年度）を見ると、全体的な傾向として数値は同じもしくは微増している。例年点数の低い項目（シラバスのチェック、予習・復習、授業への質問）は依然として3点台ではあるものの、シラバスのチェック、予習・復習に関しても前年度に比べ0.2ではあるが上昇した。また授業への質問について2021年度は3.3だった数値が2022年度は3.4、2023年度では3.6まで改善した。



<こども発達学科>

こども発達学科の数値を年度ごとに比較すると、全体的な傾向としては大きな変化はないが、6つの項目にて微減した。全項目のうち授業への質問が最低点であり、2022年度から停滞している。逆に2022年度から2023年度で一番点数の上がった項目は予習・復習であり、学びに対する姿勢の意識に変化がみられる。



<フードマネジメント学科>

2023年度新設されたフードマネジメント学科については前年度のデータがないため、2023年度のみ結果である。全体の傾向は健康栄養学科、こども発達学科と同様で、シラバスのチェック、予習・復習、授業への質問の3項目が3点台となった。新学科設立は49年ぶりであり、2023年度がフードマネジメント学科の起点となる年であるため、今年度以降のデータの推移を注視したい。

※フードマネジメント学科は2023年度（R5）新設。
よって今年度は学年別データ分析なし。

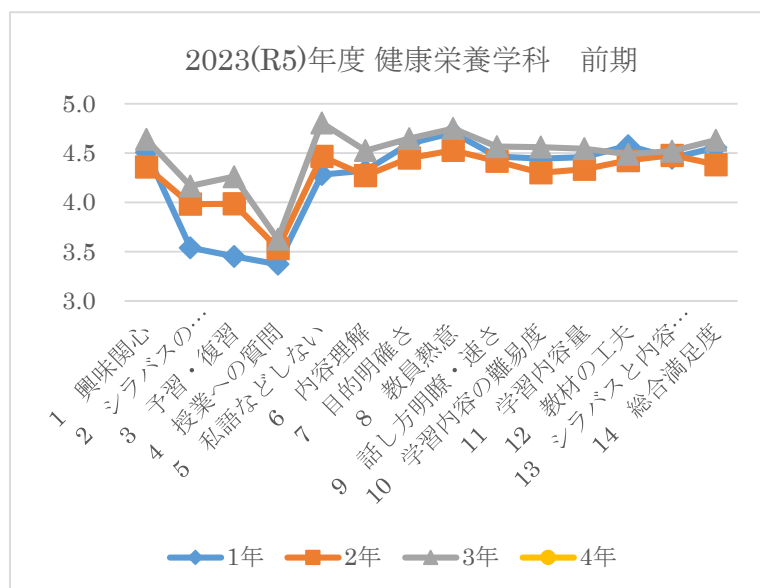
(2) 学年、学科別の平均値—健康栄養学科

学科別の平均値への学年による差異の影響を見るために、学科別の平均値を学年別に整理した。

※健康栄養学科4年前期から行われている臨地実習総合演習は後期で実習が終了したり報告会が後期に行われたりしたため、前期のデータはなし。

※()の数値は2022(R4)年度のもの。

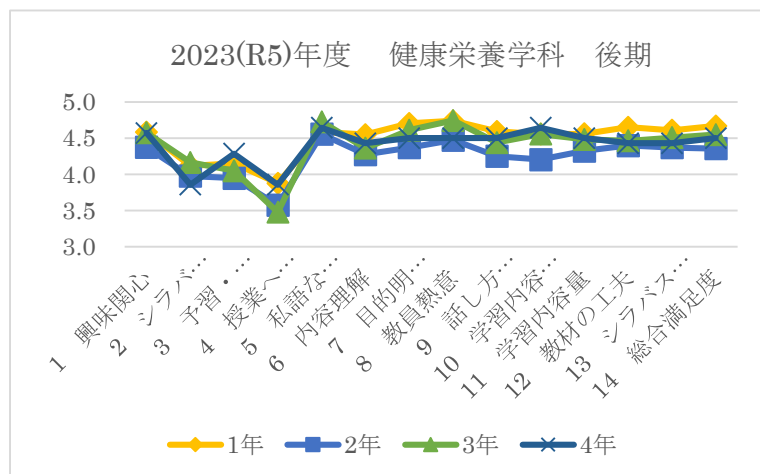
	2023(R5)年度							
	前期				後期			
	健康栄養				健康栄養			
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
1 興味関心	4.5 (4.5)	4.4 (4.6)	4.6 (4.5)		4.6 (4.3)	4.4 (4.3)	4.6 (4.2)	4.6 (4.7)
2 シラバスのチェック	3.5 (3.7)	4.0 (3.8)	4.2 (4.2)		4.1 (3.8)	4.0 (3.8)	4.2 (3.9)	3.9 (4.3)
3 予習・復習	3.5 (3.3)	4.0 (4.0)	4.3 (4.3)		4.2 (3.6)	3.9 (4.0)	4.0 (3.9)	4.3 (4.3)
4 授業への質問	3.4 (3.3)	3.5 (3.3)	3.6 (3.8)		3.9 (3.2)	3.6 (3.4)	3.5 (3.5)	3.9 (3.8)
5 私語などしない	4.3 (4.5)	4.5 (4.7)	4.8 (4.7)		4.6 (4.4)	4.6 (4.5)	4.7 (4.5)	4.6 (4.7)
6 内容理解	4.3 (4.3)	4.3 (4.4)	4.5 (4.4)		4.5 (4.2)	4.3 (4.2)	4.4 (4.1)	4.4 (4.3)
7 目的明確さ	4.6 (4.6)	4.5 (4.7)	4.6 (4.6)		4.7 (4.4)	4.4 (4.3)	4.6 (4.3)	4.5 (4.5)
8 教員熱意	4.7 (4.7)	4.5 (4.8)	4.7 (4.6)		4.7 (4.5)	4.5 (4.4)	4.7 (4.3)	4.5 (4.7)
9 話し方明瞭・速さ	4.5 (4.4)	4.4 (4.6)	4.6 (4.4)		4.6 (4.2)	4.2 (4.1)	4.4 (4.1)	4.5 (4.7)
10 学習内容の難易度	4.4 (4.4)	4.3 (4.5)	4.6 (4.4)		4.6 (4.2)	4.2 (4.2)	4.6 (4.2)	4.6 (4.5)
11 学習内容量	4.5 (4.3)	4.3 (4.5)	4.5 (4.4)		4.6 (4.3)	4.3 (4.2)	4.5 (4.0)	4.5 (4.5)
12 教材の工夫	4.6 (4.5)	4.4 (4.6)	4.5 (4.4)		4.7 (4.4)	4.4 (4.1)	4.5 (4.1)	4.4 (4.7)
13 シラバスと内容一致	4.4 (4.5)	4.5 (4.4)	4.5 (4.4)		4.6 (4.3)	4.4 (4.0)	4.5 (4.2)	4.4 (4.7)
14 総合満足度	4.6 (4.5)	4.4 (4.6)	4.6 (4.5)		4.7 (4.4)	4.4 (4.2)	4.5 (4.3)	4.5 (4.7)



<健康栄養学科について>

① 2023 年度前期

前期授業について項目別数値は 2 年生と 3 年生は同様な傾向にあるが、2022 年度と同様に 1 年生の数値のうち 2 項目（シラバスのチェック、予習・復習）が他学年と異なり低くなっている。また授業への質問の数値は各項目の中で各学年とも最低値となっている。



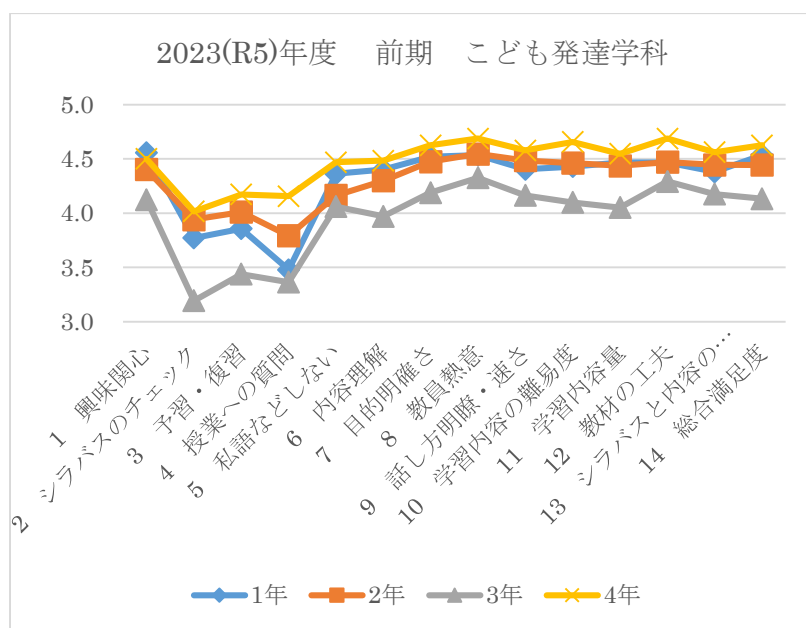
② 2023 年度後期

後期の授業科目について、前期では全体を通して最低値だった 1 年生の授業への質問の数値が 3.4 から 3.9 に上昇した。シラバスのチェックは 3.5 から 4.1、予習・復習は 3.5 から 4.2 となり、後期全項目の数値変化の中で最大の数値改善がみられた。

(3) 学年、学科別の平均値—こども発達学科

	2023(R5)年度							
	前期				後期			
	こども発達				こども発達			
	1 年	2 年	3 年	4 年	1 年	2 年	3 年	4 年
1 興味関心	4.6 (4.5)	4.4 (4.3)	4.1 (4.7)	4.5 (4.4)	4.5 (4.4)	4.3 (4.1)	4.2 (4.6)	4.5 (4.4)
2 シラバスのチェック	3.8 (3.9)	3.9 (3.4)	3.2 (4.3)	4.0 (3.7)	3.6 (3.9)	3.9 (3.1)	3.4 (3.9)	3.9 (3.3)
3 予習・復習	3.9 (3.5)	4.0 (3.8)	3.4 (4.4)	4.2 (3.9)	3.8 (3.7)	4.0 (3.5)	3.7 (4.2)	4.2 (3.4)
4 授業への質問	3.5 (3.2)	3.8 (3.6)	3.4 (4.2)	4.2 (3.5)	3.4 (3.6)	3.7 (3.4)	3.6 (4.1)	3.9 (3.2)
5 私語などしない	4.4 (4.2)	4.2 (4.4)	4.1 (4.8)	4.5 (4.3)	4.2 (4.3)	4.2 (4.1)	4.1 (4.6)	4.6 (4.0)
6 内容理解	4.4 (4.3)	4.3 (4.3)	4.0 (4.7)	4.5 (4.3)	4.2 (4.3)	4.3 (4.1)	4.1 (4.5)	4.6 (4.3)

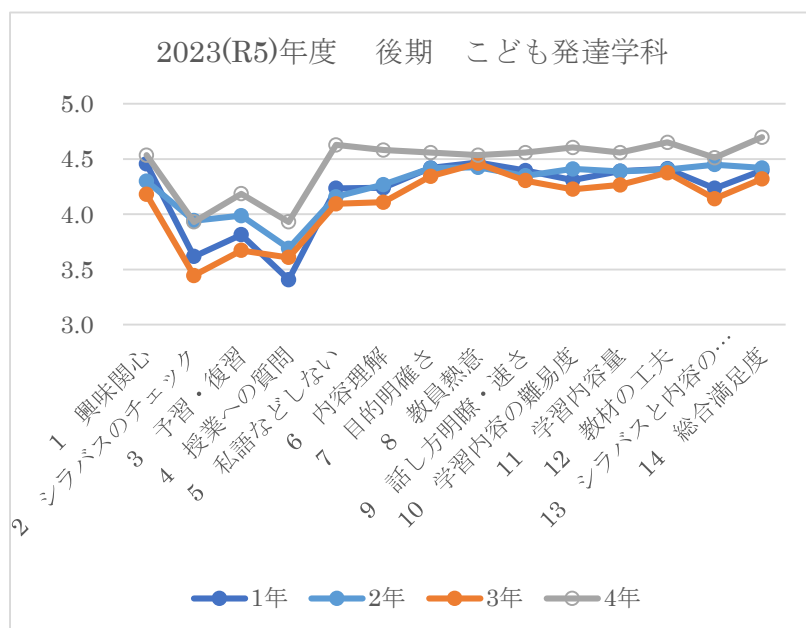
7 目的明確さ	4.5 (4.5)	4.5 (4.4)	4.2 (4.8)	4.6 (4.6)	4.4 (4.5)	4.4 (4.2)	4.3 (4.6)	4.6 (4.5)
8 教員熱意	4.5 (4.6)	4.5 (4.5)	4.3 (4.8)	4.7 (4.6)	4.5 (4.6)	4.4 (4.4)	4.5 (4.7)	4.5 (4.5)
9 話し方明瞭・速さ	4.4 (4.4)	4.5 (4.3)	4.2 (4.7)	4.6 (4.5)	4.4 (4.5)	4.3 (4.2)	4.3 (4.7)	4.6 (4.6)
10 学習内容の難易度	4.4 (4.4)	4.5 (4.2)	4.1 (4.7)	4.7 (4.5)	4.3 (4.5)	4.4 (4.1)	4.2 (4.6)	4.6 (4.5)
11 学習内容量	4.5 (4.4)	4.4 (4.3)	4.1 (4.8)	4.5 (4.5)	4.4 (4.5)	4.4 (4.2)	4.3 (4.6)	4.6 (4.5)
12 教材の工夫	4.5 (4.5)	4.5 (4.4)	4.3 (4.8)	4.7 (4.5)	4.5 (4.5)	4.4 (4.3)	4.4 (4.6)	4.7 (4.5)
13 シラバスと内容一致	4.4 (4.5)	4.4 (4.2)	4.2 (4.7)	4.6 (4.5)	4.2 (4.5)	4.4 (4.0)	4.1 (4.5)	4.5 (4.4)
14 総合満足度	4.5 (4.5)	4.4 (4.4)	4.1 (4.8)	4.6 (4.5)	4.4 (4.5)	4.4 (4.1)	4.3 (4.6)	4.7 (4.4)



<こども発達学科について>

① 2023年度前期

項目別数値の特徴として1年生は授業への質問について最低値となっており、例年通りとなっている。2～4年生に関してはシラバスのチェックが3年生で3.2となっており、前年度に比べて1.1ポイント大幅に下落した。3年生の前期は全項目において0.5～1.1ポイント下落しており、看過できない状況である。



②2023年度後期

項目別数値の中で顕著な特徴は、シラバスのチェックと授業への質問について全学年が3ポイント台となっていることである。またシラバスのチェックに関して、3年生は3.4ポイントと後期全項目で最低値となった。前期同様、3年生については後期も前年度より全項目で0.3～0.5ポイント数値が低下している。例年前記・後期ともに3年生の項目別数値が他学年より高いが、2023(R5)年度は真逆の結果となった。

(4) 学年、学科別の平均値—フードマネジメント学科

	2023(R5)年度	
	前期	後期
1 興味関心	4.5	4.2
2 シラバスのチェック	3.8	3.8
3 予習・復習	4.0	3.8
4 授業への質問	4.0	3.8
5 私語などしない	4.3	4.1
6 内容理解	4.4	4.0
7 目的明確さ	4.6	4.3
8 教員熱意	4.7	4.4
9 話し方明瞭・速さ	4.6	4.3
10 学習内容の難易度	4.6	4.2
11 学習内容量	4.6	4.3
12 教材の工夫	4.7	4.3
13 シラバスと内容の一致	4.4	4.1
14 総合満足度	4.6	4.3

<フードマネジメント学科について>

①2023 年度前期

新学科として設立後、最初の講義期間であった前期について、フードマネジメント学科の回答は、全体的に項目ごとの数値が高く、4.5 以上になったのは8項目あった。

最高数値は教員の熱意と教材の工夫で、それぞれ 4.7 ポイントだった。

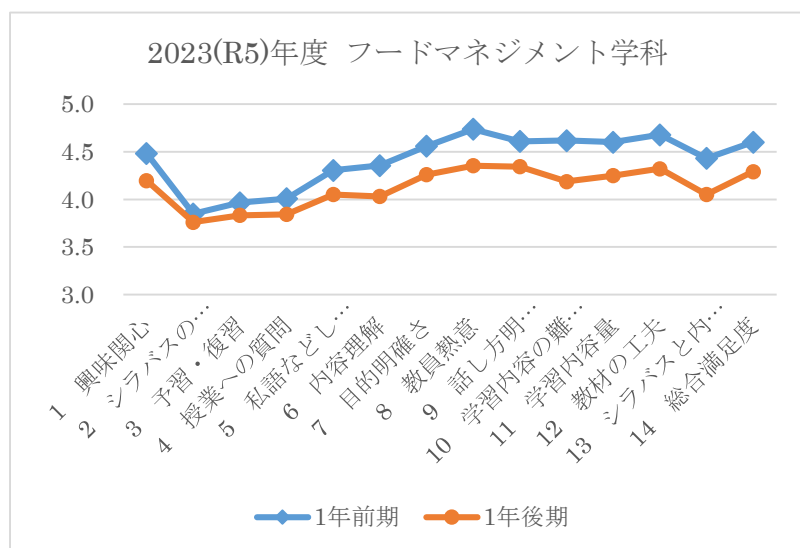
最低値になったのはシラバスのチェックで 3.8 ポイントであり、3 ポイント台だったのはこの 1 項目のみである。

②2023 年度後期

健康栄養学科、こども発達学科同様、フードマネジメント学科でも前期と比べて後期で数値の下がる結果となり、4.5 を超えた項目はなかった。

シラバスのチェック、予習・復習、授業への質問が 3 ポイント台へと減少し、他学科と同様な傾向を見せ始めている。

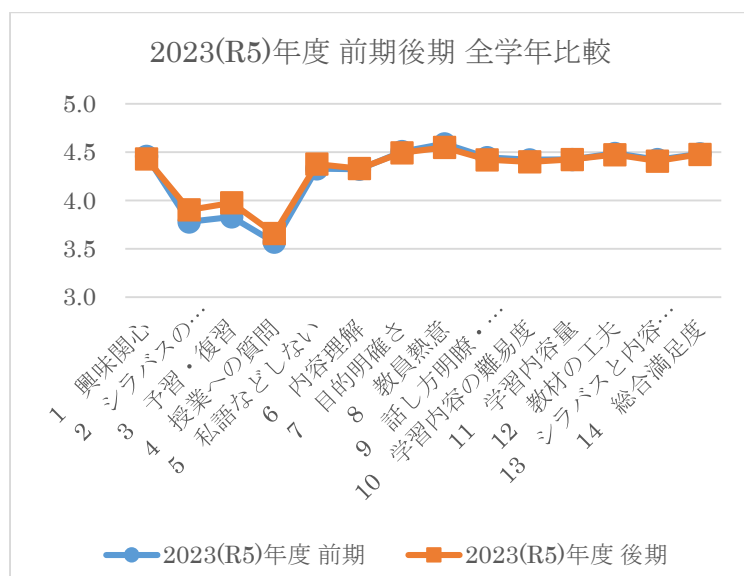
内容の理解が前期から 0.4 低下した点が懸念される。



(5) 2023 (R5) 年度全学年比較

	2023(R5)年度	
	前期	後期
1 興味関心	4.5 (4.5)	4.4 (4.3)
2 シラバスのチェック	3.8 (3.8)	3.9 (3.7)
3 予習・復習	3.8 (3.7)	4.0 (3.7)
4 授業への質問	3.6 (3.4)	3.7 (3.5)
5 私語などしない	4.3 (4.5)	4.4 (4.3)
6 内容理解	4.3 (4.4)	4.3 (4.3)
7 目的明確さ	4.5 (4.6)	4.5 (4.4)
8 教員熱意	4.6 (4.6)	4.5 (4.5)
9 話し方明瞭・速さ	4.4 (4.4)	4.4 (4.3)
10 学習内容の難易度	4.4 (4.4)	4.4 (4.3)
11 学習内容量	4.4 (4.4)	4.4 (4.3)
12 教材の工夫	4.5 (4.5)	4.5 (4.4)
13 シラバスと内容の一致	4.4 (4.4)	4.4 (4.3)
14 総合満足度	4.5 (4.5)	4.5 (4.3)

※()内の数値は 2022 (R4) 年度のもの。



2022 年度（前年度）の前期後期の全学年比較では前期から後期にかけて、ほぼ全ての項目で数値が減少した。数値が上昇したのは、授業への質問のみだった。

2023 年度前期後期の全学年比較の特徴は、各項目で前期より後期で数値が下がった 2 項のみ（興味関心、教員熱意）で、下げ幅も 0.1 ポイントと微減だった。それ以外の項目は同じあるいは微増となった。

シラバスのチェックと授業への質問の項目の数値は 2020～2023 年度の間で 3 ポイント台であるが、2023 年度も現状維持あるいは微増となり、緩やかであるが改善し続けている。特にシラバスのチェックは後期 3.9 ポイントと 4 ポイント台目前に達している。

前期後期全学年比較は 2019 (R1) 年度は前期 4.1、後期 4.1、2020 (R2) 年度は前期 4.3、後期 4.3、2021 (R3) 年度は前年度と同数値、2022 (R4) 年度は前期 4.3、後期 4.2 と推移してきた。そして 2023 (R5) 年度の全体数値前期の平均値は 4.3、後期も 4.3 であった。今年度を含む過去 5 年間 4 ポイント台を維持し続けている。

2023 (R5) 年度の前期後期の数値は改善傾向を示した。それがフードマネジメント学科の加入によるものなのか否かの検討については、今後の数値変化の動向に着目し、次年度以降で分析するものとする。

(6) 2023 (R5) 年度調査回答率について

2023 年度前期 授業改善のための調査回答率

	履修者数	回答者数	回答率
1N	779	630	80.9(78.0)
2N	578	362	62.6(63.6)
3N	415	246	59.3(59.3)
4N	0	0	#DIV/0!
N	1772	1238	69.9(70.5)
1C	859	654	76.1(58.2)
2C	1028	628	61.1(66.5)
3C	534	233	43.6(37.3)
4C	133	64	48.1(47.3)
C	2554	1579	61.8(54.9)
1F	161	118	73.3(0.0)
F	161	118	73.3(0.0)
1 年	1799	1402	77.9(66.5)
2 年	1606	990	61.6(65.1)
3 年	949	479	50.5(47.6)
4 年	133	64	48.1(47.3)
全学	4487	2935	65.4(61.4)

(紙の用紙、講義内実施で平均 91%程度)

※ () 内の数値は 2022 年度のもの。

2023 年度後期 授業改善のための調査回答率

	履修者数	回答者数	回答率
1N	729	566	77.6(63.2)
2N	468	241	51.5(65.3)
3N	349	164	47.0(70.7)
4N	41	14	34.1(66.7)
N	1587	985	62.1(65.3)
1C	765	454	59.3(56.5)
2C	882	463	52.5(52.7)
3C	399	128	32.1(55.2)
4C	64	43	67.2(53.3)
C	2110	1088	51.6(55.0)
1F	162	96	59.3(0.0)
F	162	96	59.3(0.0)
1 年	1656	1116	67.4(59.2)
2 年	1350	704	52.1(58.7)
3 年	748	292	39.0(61.6)
4 年	105	57	54.3(54.8)
全学	3859	2169	56.2(59.4)

(紙の用紙、講義内実施で平均 91%程度)

※ () 内の数値は 2022 年度のもの。

<2023 年度前期調査回答率>

前年度と同様、前期の調査回収率は健康栄養学科のほうがこども発達学科より高かったが、学科ごとの回収率の差は 8.1% (前年度は 15.6%) に縮小した。p.5 で記載したとおり、4N の授業は 2023 年度前期で開講されていた臨地実習総合演習のみであり、また一部の実習終了や報告会が後期に行われたため、3 学年分の平均値となっている。

こども発達学科は、3C (2021C) の回答率が最低値で、学科平均と比較しても 18.2% の差がある。前年度も 3C (2020C) の前期の回答率最低値 (37.3%) となっており、前期開講科目とその内容、および回答率との因果関係を精査する必要がある。今年度よりフードマネジメント学科の調査が開始され、1F (2023F) の前期回答率は他学年同様高い数値となっている。学年別の基本的特徴は全学科とも低学年の回答率が高く、学年が上がるにつれて回答率が下がる傾向にある。1F も同様となるか次年度以降の経過を見守る必要がある。

<2023 年度後期回答率>

後期の回答率平均は、健康栄養学科は 7.8%、こども発達学科は 10.2%、フードマネジメント学科は 14.0% 減となった。学科別の特徴としては特に 4N(2020N) の回答率が低く、前年度は 66.7% だったが、34.1% のまで減少した。また例年健康栄養学科の前期後期の回答率に大きな変化は見られないが、今年度は全学年において 3.3~12.3% の減少となった。

こども発達学科は前期同様 3C (2021C) が全学科中で最低値の 32.1% となった。前年度の 3C (2020C) は 55.2% であったこと、前期でも最低数値であったことから 3C (2021C) の回答率の低さは同クラス特有のものと思われる。

今年度初の調査となったフードマネジメント学科は他学科同様、前期と比べて後期は回答率が下がる結果となった。

(7) 2017（H28）年度からの回答率の推移

「授業改善のための調査」(学生用)回答率

	実施科目数	履修登録者延べ人数	回収数	回答率
2017 年度前期	155	4423	3752	84.83%
2017 年度後期	125	3535	2794	79.04%
2018 年度前期	149	3952	3299	83.50%
2018 年度後期	126	3104	2201	70.91%
2019 年度前期	139	3606	2667	73.96%
2019 年度後期	130	3194	1934	60.55%
2020 年度前期	132	3525	2148	60.94%
2020 年度後期	122	3055	2034	66.58%
2021 年度前期	130	3560	2495	70.08%
2021 年度後期	124	3333	1573	47.19%
2022 年度前期	136	4179	2564	61.35%
2022 年度後期	125	3631	2156	59.38%
2023 年度前期	157	4487	2935	65.41%
2023 年度後期	145	3859	2169	56.21%

※2017 年度～Web（紙の用紙、講義内調査実施で平均 91%程度）

「『授業改善』のための調査」は 2017 年度より Web 回答を継続実施している。2019 年度前期以降、回答率が 70%台に達したのは 2021 年度前期のみである。例年、前期の回答率のほうが後期より数値は高く、その傾向は 2017 年度から変化していない。

2023 年度の回答率で評価すべきは、前年度の前期回答率は 61.35%だったが、今年度は前期の回答率が 65.41%へと上昇、60%半ばまで改善したことである。一方後期で留意すべきは前年度に 59.38%と 60%台目前まで回復した回答率が 2023 年度では 3.17%ではあるが後退した点である。2019 年度以降、後期の回答率は増減を繰り返しており、安定した回答率の確保が課題である。ただし 2022 年度全体の回答率が 60.43%だったのが 2023 年度では 61.16%へと微増し続けている点は高評価できる要素である。

2023 年度から従来の 2 学科に加えてフードマネジメント学科が調査対象に加わった。今年度の前期後期の回答率は他学科 1 年生と同様の傾向にある。進級に伴う数値推移への注視が必要である。

3. 2023 年度「『授業改善』のための調査」報告書の総括と今後の課題

2023 年度に実施した『授業改善』のための調査では、前期の回答率は 2022 年度を上回ったものの、後期では前年度より減少した。また年度全体の回答率は 61.16%へと改善した。健康栄養学科については前期では前年度と比べ数値変化に大差はなかったものの、3 つの学年で後期の回答率が大幅に低下した。こども発達学科は 3C（2021C）の回答率の低さが顕著である。フードマネジメント学科は調査初年度であり経過の推移を見守る必要がある。健康栄養学科の後期およびこども発達学科の 3 年次の授業内容と回答率の相関関係を精査することが今後の課題である。

4. 付録（p.13～p.19） ※p.14 以降は見本。

学生による授業改善のための調査

*必須

自分の授業取り組みについての評価

1.授業の内容に興味・関心を持つことができた *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

2.この授業のシラバスをよくチェックした *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

3.この授業のために予習・復習をした *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

4.この授業で質問等を積極的にした *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

5.授業とは関係のない行為（私語や携帯電話の使用など）をしなかった *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

6.総合的に判断して自分はこの講義の目標を達成することができたと思う *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

授業に対する評価

7.この授業の目標、目的は明確であった *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

8.この授業において、教員の熱意が感じられた *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

9.教員の話し方は明瞭でかつ適切な速さであった *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

10.この授業の学習内容の難易度は適切であった *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

11.この授業の学習内容の量は適切であった *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

12.この授業では理解向上のために、教材や講義の方法などの工夫がなされていた *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

13.シラバスと授業内容が一致していた *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

総合評価

14. Q1からQ13までを総合的に考慮してこの授業で満足いく学びを得ることができた *

1 2 3 4 5
全くあてはまらない ○ ○ ○ ○ ○ よくあてはまる

自由記述

この授業の良いと思ったところ、要望等、調査について気づいたことを入力してください

回答を入力

戻る

送信

2023年度 前期 「授業改善」のための調査の実施について

前期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。入力にはパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiも利用できます。(Wi-Fiの詳細は裏面)

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答用URL:	https://goo.gl/HznaxR (全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください)	
	または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。	
	コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルダ内「前期授業改善のための調査」からも可能です。	
回答期間:	原則として授業内で回答時間が指示されます。 (この用紙は全科目で使用しますので無くさないように保管してください) 最終週の授業でも回答指示がなかった場合、各自で7月31日(月)までに回答してください。 (集中講義は、講義終了後1週間以内)	
回答科目:	2023年度 前期に履修登録している全科目 (ただし学外実習、卒業論文を除く) ※回答確認欄を利用し、未回答科目がないようにお願いします。	
回答確認メール:	入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。	
項目について:	① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。 ② 未入力項目があると送信できません。 ③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、学務課までお願いします。 ④ 学籍番号・メールアドレスはアンケートの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切影響しませんので、安心して率直にお答えください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。 なお、調査に回答していない場合は、FD委員会より連絡することがあります。	

＜健康栄養学科＞

開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1N	3104	法学	小野昇平		2N	3135	プレゼンテーション論	友田志郎	
	3105	経済学	兼平拓道			3145	時事英語 I	杉本久美子	
	3108	心理学	小林琢哉			3147	ドイツ語 I	齋藤義彦	
	3109	地域活性化論A	前田朝美			3149	フランス語 I	工藤貴子	
	3111	学園と地域を知る	中村光宏、他			3304	地域健康支援実習	田中里奈	
	3121	有機化学	富田雅弘			3305	健康科学実習	前田朝美	
	3124	生命科学	友田志郎			3310	栄養生理学	飯泉恭一	
	3131	論文文技術 I	船水周			3311	基礎免疫学	清水将之	
	3133	情報機器の操作 I	奈良拓哉			3314	生化学実験	飯泉恭一	
	3141	英語A I	FitzpatrickChristopher			3317	食品学	富田雅弘	
	3143	英語B I	杉本久美子			3324	調理学実習	今村麻里子、山田和歌子	
	3161	体育 I	神和人			3326	基礎栄養学実験	奥野海良人	
	3301	地域健康支援論	今村麻里子			3328	世代別栄養学	熊谷貴子	
	3302	社会福祉論	齋藤史彦			3342	公衆栄養学	小沼奈緒美	
	3308	生化学	飯泉恭一			3345	給食経営管理論	花田玲子	
	3320	調理学	北山育子			3432	家庭経営学Ⅱ	工藤寧子	
	3325	基礎栄養学	奥野海良人			3461	保育学Ⅰ	福土章子	
	3333	健康教育論	前田朝美			3501	家庭科教育法Ⅰ	工藤寧子	
	3404	食の心理学	萩臺美紀			3601	教育原理	齋藤雅俊	
	3405	おいしさの科学	奥野海良人			3602	教職の理解	齋藤雅俊、他	
3N	3441	被服学	葛西美樹		4N	3606	教育課程論	森本洋介	
	3451	住居学	北原啓司						
	3312	微生物学	富田雅弘			3201	卒業論文		実施しない
	3313	解剖生理学実験	飯泉恭一			3349	臨地実習総合演習	前田・伊藤・小沼・花田	
	3329	スポーツ・運動栄養学	中村亜紀			3350	給食経営管理臨地実習	花田玲子	実施しない
	3332	食行動論	前田朝美			3351	公衆栄養学臨地実習	小沼奈緒美	実施しない
	3337	臨床栄養管理学	伊藤・富樫・高屋(千)			3352	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	伊藤恵美子	実施しない
	3338	臨床栄養生化学	伊藤恵美子			3353	臨床栄養学臨地実習Ⅱ	伊藤恵美子	実施しない
	3340	臨床科学実験	伊藤恵美子			3614	教育実習(中・高)	教職課程委員会	実施しない
	3343	地域健康栄養学	小沼奈緒美			3616	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	前田・今村	実施しない
	3347	給食経営管理実習	花田玲子						
	3422	学校栄養教育論	前田朝美						
	3443	被服平面構成実習	葛西美樹						
	3471	家庭電気・機械	花田裕						
	3503	家庭科教育法Ⅲ	葛西美樹						
	3608	総合的な学習の時間の指導法	花田裕						
	3611	生徒指導(進路指導を含む。)	齋藤昭						
	3612	教育相談	萩臺美紀						
※	網掛部分は卒業必修科目								

柴田学園大学FD委員会(問合せ先:学務課)

《こども発達学科》									
開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1C	2104	法学	小野昇平		2C	2135	プレゼンテーション論	友田志郎	
	2105	経済学	兼平拓道			2145	時事英語Ⅰ	杉本久美子	
	2108	心理学	小林琢哉			2147	ドイツ語Ⅰ	齋藤義彦	
	2109	地域活性化論A	前田朝美			2149	フランス語Ⅰ	工藤貴子	
	2111	学園と地域を知る	中村光宏、他			2204	教育課程論	森本洋介	
	2121	有機化学	富田雅弘			2209	声楽Ⅰ	諏訪才子	
	2124	生命科学	友田志郎			2234	ICTの基礎	友田志郎	
	2131	論文文技術Ⅰ	船水周			2301	国語Ⅰ	船水周	
	2133	情報機器の操作Ⅰ	奈良拓哉			2303	社会	大谷伸治	
	2141	英語AⅠ	FitzpatrickChristopher			2312	図画工作A	葛西克行	
	2143	英語BⅠ	杉本久美子			2315	小学体育A	今和香子	
	2161	体育Ⅰ	神和人			2502	子どもの保健	松尾泉	
	2201	家政学原論	工藤寧子			2504	子どもの環境	吉田裕美子	
	2202	教育原理	齋藤雅俊			2505	子どもの言葉	船水周	
	2205	保育原理	安川由貴子			25070	ピアノ表現Ⅰ	一戸智之	
	2207	ピアノ基礎Ⅰ	一戸智之			25071	ピアノ表現Ⅰ	吉田裕美子	
	2211	被服の基礎実習	葛西美樹、工藤寧子			2509	造形表現A	工藤千華	
	2212	調理の基礎実習	山田和歌子			2511	子どもの運動あそびⅠ	小関潤子	
	2220	基礎ゼミⅠ	齋藤雅俊、他			2601	保育内容総論	安川由貴子	
	2231	家庭管理学	日景弥生			2603	人間関係の指導法	吉田裕美子	
	2232	被服学	葛西美樹			2806	保育の計画と評価	江荊川淳子	
3C	2310	音楽Ⅰ	一戸智之、諏訪才子		4C	2809	乳児保育Ⅱ	福士章子	
	2701	教職の理解	齋藤雅俊、他			2811	社会的養護Ⅰ	増田貴人	
						2813	保育実習指導Ⅰ	保育士課程委員会	
	2104	法学	小野昇平			2145	英語CⅠ	杉本久美子	
	2105	経済学	兼平拓道			2224	卒業研究Ⅲ		実施しない
	2222	卒業研究Ⅰ		実施しない		2240	教育史	齋藤雅俊	
	2314	家庭	葛西・工藤(寧)			2242	人権教育論	小野昇平	
	2317	小学英語	杉本久美子			2243	教育方法演習A	一戸智之、杉本久美子、花田裕	
	2401	国語科教育法	船水周			2244	教育方法演習B	齋藤雅俊、船水周、葛西美樹、工藤寧子	
	2402	社会科教育法	大瀬勝彦			2708	生徒・進路指導	齋藤昭	
	2407	図画工作科教育法	蝦名敦子			2711	事前事後指導(小)	花田裕、杉本久美子	
	2409	体育科教育法	上野秀人			2712	教育実習(小)	教職課程委員会(小)	実施しない
	2602	健康の指導法	小関潤子			2714	学校教育体験実習Ⅰ(小)	教職課程委員会(小)	実施しない
	2606	表現の指導法AⅠ	諏訪才子			2801	子ども家庭福祉Ⅰ	小野昇平	
	2608	表現の指導法BⅠ	工藤千華			2807	子ども家庭支援論	安川由貴子	
	2702	教育行政	桐村豪文						
	2705	総合的な学習の時間の指導法	花田裕						
	2709	子どもの理解と援助	萩臺美紀						
	2710	教育相談	萩臺美紀						
	2716	事前事後指導(幼)	吉田裕美子						
	2717	教育実習(幼)	教職課程委員会	実施しない					
	2816	保育実習指導Ⅱ	保育士課程委員会						

《フードマネジメント学科》

開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄					
1F	4104	法学	小野昇平		【柴田学園大学Wi-Fi】 ID : shibata-wifi パスワード : 23-ringo				
	4105	経済学	兼平拓道						
	4108	心理学	小林琢哉						
	4109	地域活性化論A	前田朝美						
	4111	学園と地域を知る	中村光宏、他						
	4121	有機化学	富田雅弘						
	4124	生命科学	友田志郎						
	4131	論文文技術Ⅰ	船水周						
	4133	情報機器の操作Ⅰ	奈良拓哉						
	4141	英語AⅠ	FitzpatrickChristopher						
	4143	英語BⅠ	杉本久美子						
	4161	体育Ⅰ	神和人						
	4201	生活学概論	日景弥生						
	4202	食文化論	安田智子						
	4203	食育概論	今村麻里子						
	4301	調理学	今村麻里子						
	4302	基礎調理学実習	今村麻里子						
	4303	食品化学	柳町悟司						
	4304	栄養学	奥野海良人						
	4401	フードビジネス論	市田淳治						

※ 網掛部分は卒業必修科目

柴田学園大学FD委員会(問合せ先:学務課)

2023年度 後期 「授業改善」のための調査の実施について

後期に履修しているすべての科目について、Web上の専用入力フォームにアクセスし、「授業改善のための調査」に回答をお願いします。入力にはパソコン、スマートフォン、タブレット端末等から可能です。学内のWi-Fiも利用できます。(Wi-Fiの詳細は裏面)

この調査は、今後の授業をより良くする目的として実施するもので、それ以外の目的には一切使用いたしません。集計にあたっては、回答者の匿名性に配慮します。授業改善のために役立つ率直な意見をご記入ください。

回答用URL:	https://goo.gl/aBWDsV (全科目で使用しますので、ブックマーク等に登録してください)	
	または、QRコード読み取りアプリにて、右のQRコードを読み込んでください。	
	コンピュータ室から回答する場合は、共有フォルダ内「後期授業改善のための調査」からも可能です。	
回答期間:	原則として授業内で回答時間が指示されます。(この用紙は全科目で使用しますので無くさないように保管してください) 最終週の授業でも回答指示がなかった場合、各自で 2月10日(金)まで に回答してください。(集中講義は、講義終了後1週間以内)	
回答科目:	2023年度 後期に履修登録している全科目 (ただし学外実習、卒業論文を除く) ※回答確認欄を利用し、未回答科目がないようにお願いします。	
回答確認メール:	入力したメールアドレスに回答確認メールを送信します。	
項目について: ① 下記の表にある、科目番号、科目名、教員名を選択してください。 ② 未入力項目があると送信できません。 ③ 1科目につき、1人1回ずつ回答してください。誤って送信してしまった場合は、学務課までお願いします。 ④ 学籍番号・メールアドレスはアンケートの信頼性を高めるために使用するのみで、教員には伝わりません。成績評価にも一切影響しませんので、安心して率直にお答えください。自由記述は個人を特定されない形で教員へ結果を配布します。 なお、調査に回答していない場合は、FD委員会より連絡することがあります。		

《健康栄養学科》

開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1N	3101	倫理学	齋藤雅俊		2N	3127	自然科学概論	友田志郎	
	3102	国文学	中村光宏			3146	時事英語Ⅱ	杉本久美子	
	3103	日本国憲法	小野昇平			3148	ドイツ語Ⅱ	齋藤義彦	
	3107	社会学	中村光宏			3150	フランス語Ⅱ	工藤貴子	
	3110	地域活性化論B	小野昇平、他			3306	解剖生理学	清水将之、飯泉恭一	
	3122	化学	飯泉恭一			3307	病態別生理学	清水将之	
	3125	数理学	友田志郎			3315	栄養生化学実験	奥野海良人	
	3126	統計学	小林琢哉			3316	栄養生理学実験	飯泉恭一	
	3132	論作文技術Ⅱ	船水周			3322	食品学実験	富田雅弘	
	3134	情報機器の操作Ⅱ	奈良拓哉			3330	応用栄養学実習	小沼奈緒美	
	3142	英語AⅡ	FitzpatrickChristopher			3331	栄養教育論	前田朝美	
	3144	英語BⅡ	杉本久美子			3335	臨床栄養学	伊藤恵美子	
	3162	体育Ⅱ	神和人			3346	給食経営実践論	花田玲子	
	3303	健康衛生学	田中里奈			3421	健康・食生活論	今村麻里子	
	3309	栄養生化学	奥野海良人			3446	アパレルCAD実習	工藤寧子	
	3318	食品健康科学	前多隼人			3463	保育学Ⅱ	福土章子	
	3323	基礎調理学実習	今村麻里子、山田和歌子			3472	データ解析演習	奈良拓哉	
	3327	応用栄養学	熊谷貴子			3502	家庭科教育法Ⅱ	林孝子	
	3403	トレーニング科学	戸塚学			3604	教育心理学	小林琢哉	
3N	3406	食品機能学	富田雅弘		4N	3607	道德教育の指導法	齋藤雅俊	
	3431	家庭経営学Ⅰ	工藤寧子			3610	教育方法・技術(情報通信技術の活用を含む)	森本洋介	
	3462	家庭看護	大津美香						
	3201	卒業論文		実施しない		3615	教職実践演習(中・高)	齋藤(雅)・小林・葛西他	
	3319	食品科学	富田雅弘			3617	教職実践演習(栄養教諭)	齋藤(雅)・小林 他	
	3321	食品科学実験	富田雅弘						
	3334	栄養教育論実習	前田朝美						
	3336	実践介護食事論	伊藤恵美子						
	3339	臨床栄養学実習	伊藤恵美子						
	3341	臨床福祉栄養学実習	伊藤恵美子						
	3344	公衆栄養学実習	小沼奈緒美						
	3348	栄養管理総合演習	伊藤・小沼・花田						
	3504	家庭科教育法Ⅳ	葛西 美樹						
	3605	特別支援教育論	松本 敏治						
	3613	事前事後指導(中・高)	葛西・工藤(寧)						
	3616	栄養教育実習(事前事後指導を含む。)	前田・今村						

※ 網掛け部分は卒業必修科目 柴田学園大学FD委員会(問合せ先:学務課)

《こども発達学科》									
開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄	開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1C	2101	倫理学	齋藤雅俊		2C	2127	自然科学概論	友田志郎	
	2102	国文学	中村光宏			2146	時事英語Ⅱ	杉本久美子	
	2103	日本国憲法	小野昇平			2148	ドイツ語Ⅱ	齋藤義彦	
	2107	社会学	中村光宏			2150	フランス語Ⅱ	工藤貴子	
	2110	地域活性化論B	小野昇平、他			2210	声楽Ⅱ	諏訪才子	
	2122	化学	飯泉恭一			2235	ICT活用法	友田志郎	
	2125	数理科学	友田志郎			2302	国語Ⅱ	船水周	
	2126	統計学	小林琢哉			2313	図画工作B	葛西克行	
	2132	論文作文技術Ⅱ	船水周			2314	家庭	葛西美樹、工藤寧子	
	2134	情報機器の操作Ⅱ	奈良拓哉			2316	小学体育B	今和香子	
	2142	英語AⅡ	Fitzpatrick Christopher			2501	子どもの健康と安全	福士章子	
	2144	英語BⅡ	杉本久美子			2506	子どもの表現	諏訪才子	
	2162	体育Ⅱ	大島義晴、神和人			25080	ピアノ表現Ⅱ	一戸智之	
	2203	教育心理学	小林琢哉			25081	ピアノ表現Ⅱ	吉田裕美子	
	2206	保育の心理学	萩臺美紀			2510	造形表現B	工藤千華	
	2208	ピアノ基礎Ⅱ	一戸智之			2512	子どもの運動あそびⅡ	小関潤子	
	2221	基礎ゼミⅡ	齋藤雅俊、他			2605	言葉の指導法	船水周	
	2233	食物学	吉村小百合			2704	道德教育の指導法	齋藤雅俊	
	2309	生活	齋藤昭			2707	教育方法・技術(情報通信技術の活用含む)	森本洋介	
	2311	音楽Ⅱ	一戸智之、諏訪才子			2805	子ども家庭支援の心理学	萩臺美紀	
	2503	子どもの人間関係	吉田裕美子			2810	障害児保育	若林一哉	
	2804	保育者論	安川由貴子			2812	社会的養護Ⅱ	増田貴人	
	2808	乳児保育Ⅰ	吉田裕美子			2814	保育実習ⅠA	保育士課程委員会	実施しない
						2815	保育実習ⅠB	保育士課程委員会	実施しない
3C	2102	国文学	中村光宏		4C	2146	英語CⅡ	杉本久美子	
	2107	社会学	中村光宏			2225	卒業研究Ⅳ		実施しない
	2121	自然科学概論	友田志郎			2713	教職実践演習(幼・小)	齋藤雅俊、他	
	2223	卒業研究Ⅱ		実施しない		2715	学校教育体験実習Ⅱ(小)	教職課程委員会(小)	実施しない
	2237	児童文化論	吉田裕美子			2802	子ども家庭福祉Ⅱ	小野昇平	
	2241	児童心理学研究法	小林琢哉			2818	保育実践演習	安川由貴子	
	2403	算数科教育法	久慈和寛						
	2404	理科教育法	花田裕						
	2406	音楽科教育法	一戸智之						
	2408	家庭科教育法	葛西美樹、工藤寧子						
	2410	外国語(英語)教育法	杉本久美子						
	2513	子どもの食と栄養	山田和歌子						
	2514	子育て支援	安川由貴子						
	2607	表現の指導法AⅡ	諏訪才子						
	2609	表現の指導法BⅡ	工藤千華						
	2706	特別活動の指導法	花田裕						
	2803	社会福祉	小野昇平						
	2817	保育実習Ⅱ	保育士課程委員会	実施しない					
※ 網掛部分は卒業必修科目									

「フードマネジメント学科」				
開講 クラス	科目番号	科目名	担当教員名	回答確認欄
1F	4101	倫理学	齋藤雅俊	
	4102	国文学	中村光宏	
	4103	日本国憲法	小野昇平	
	4107	社会学	中村光宏	
	4110	地域活性化論B	小野昇平、他	
	4122	化学	飯泉恭一	
	4125	数理学	友田志郎	
	4126	統計学	小林琢哉	
	4132	論文作文技術Ⅱ	船水周	
	4134	情報機器の操作Ⅱ	奈良拓哉	
	4142	英語AⅡ	Fitzpatrick Christopher	
	4144	英語BⅡ	杉本久美子	
	4162	体育Ⅱ	神和人	
	4204	食と健康	奥野海良人	
	4205	食育教育論	石塚哉史	
	4305	食品学	吉村小百合	
	4306	応用調理学実習	今村麻里子	
	4307	微生物学	富田雅弘	
	4308	生化学	飯泉恭一	
	4402	フードマネジメント概論	日景弥生	
4403	マーケティングリサーチ論	兼平拓道		

【柴田学園大学Wi-Fi】

ID : shibata-wifi

パスワード : iwaki-2022

柴田学園大学FD委員会(問合せ先:学務課)

各 位

FD 委員会

Web による「授業改善」のための調査実施のお願い

講義最終日または 14 回目の講義内で、5～10 分程度調査回答のための時間を必ず設けて回答させてください。（講義内で回答時間を設けられなかった場合、学務課までご連絡をお願いします）

学生には事前にメールにて「2023 年度 前期 「授業改善」のための調査の実施について」を送信していますので、それを元に回答させるようお願い致します。

調査について質問があった場合は、学務課まで問い合わせるようお願いください。

この調査は、大学の自己点検・自己評価の資料として、FD に関連して実施するものです。後日、担当している科目の調査結果をお渡し致します。先生方の授業改善のためにお役立て頂きたいと思います。

なにとぞ、主旨をご理解の上、ご協力頂きたいようお願い致します。

◇ 調査を始める前に学生に下記の事項を読んでください。

1. 【一般講義室での講義の場合】

スマートフォン、携帯電話等を出して、「授業改善」のための調査の回答画面を開いてください。（講義室内に掲示の QR コードからも回答できます。）

【コンピュータ室で実施している講義の場合】

共有フォルダ内の「__前期授業改善のための調査」を開いてください。

【体育館・音楽室等の場合】

（学内の無線 LAN が使用できませんので、講義終了後に各自必ず回答するようお願いいただくか、一般講義室へ移動して回答させてください。）

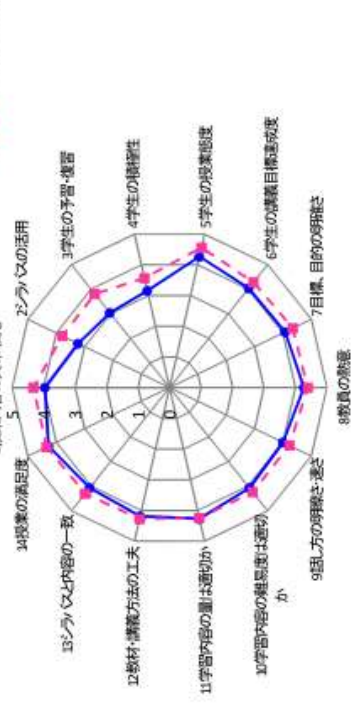
2. （授業の科目番号、科目名を読み上げて、）この科目について調査に回答してください。自由記述欄もできるだけ記入してください。

3. 電波が弱い、接続ができない、端末がない等で、講義内での回答ができない学生は、講義終了後にコンピュータ実習室のパソコンにて、速やかに回答してください。

20**年度 ○期 学生による授業改善のための調査 集計結果表 (科目別)

科目番号	5555	対象学科	○年**学科	履修者数	31 名
科目名	*****	授業形態	演習	回答者数	26 名
教員名	○○○○	教員番号	***	回答率	83.9 %
				全学平均回答率	60.6 %

○設問別平均値比較レーダーチャート



○自由記述

.....
.....
.....

○項目別回答分布(人数と平均値)

区分	項目番号	設問文	回答分布(人)										平均	学科平均
			5	4	3	2	1	まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらでもない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
学生自身について授業の取り組み	1	授業の内容に興味・関心を持つことができた	5	16	4	1	0						4.0	4.3
	2	この授業のシラバスをよくチェックした	3	6	11	6	0						3.2	3.8
	3	この授業のために予習・復習をした	2	5	12	6	1						3.0	3.8
	4	この授業で質問等を積極的にした	2	8	10	4	2						3.2	3.6
	5	授業とは関係のない行為(私語や携帯電話の使用など)をしなかった	12	9	5	0	0						4.3	4.6
	6	総合的に判断して自分はこの講義の目標を達成することができたと思う	8	12	5	1	0						4.0	4.3
授業についての評価	7	この授業の目標、目的は明確であった	9	11	5	1	0						4.1	4.3
	8	この授業において、教員の熱意が感じられた	11	11	4	0	0						4.3	4.4
	9	教員の話し方は明瞭でかつ適切な速さであった	9	10	6	0	1						4.0	4.2
	10	この授業の学習内容の難易度は適切であった	8	13	4	1	0						4.1	4.2
	11	この授業の学習内容の量は適切であった	12	10	3	1	0						4.3	4.3
	12	この授業では理解向上のために、教材や講義の方法などの工夫がなされていた	10	12	3	1	0						4.2	4.3
	13	シラバスと授業内容が一致していた	8	12	6	0	0						4.1	4.3
評価合計	14	Q1からQ13までを総合的に考慮してこの授業で満足いく学びを得ることができた	11	11	4	0	0						4.3	4.3